

【問い合わせ先】

島根県病害虫防除所 [担当：福間・澤村]

TEL：0853-22-6905

FAX：0853-24-3342

令和3年度 病害虫発生予察情報 技術情報第1号

令和3年4月2日  
島根県病害虫防除所

## タマネギベと病の発生状況について

タマネギベと病の伝染源となる越冬罹病株が平年に比べてやや多く、発病株率の極めて高いほ場も確認されています。今後、本病の多発が懸念されます。

現地では発生状況を把握し、越冬罹病株の抜き取り、薬剤散布など防除対策の徹底をお願いします。

### 1. 発生状況と今後の予想

- 1) 3月下旬の巡回調査では、越冬罹病株の発生ほ場率が33.3%（平年26.5%）、1万株当たりの発病株数は6.4株（平年6.0株）と過去10年で3番目に多い（図1）。今後、多発生ほ場及び周辺ほ場では、甚大な被害を受ける可能性がある。
- 2) 中国地方1か月予報（4月3日～5月2日、広島地方气象台4月1日発表）によると向こう1か月の降水量、日照時間が平年並みであることから、本病の発生を特に抑制する要因とはならないと考えられる。

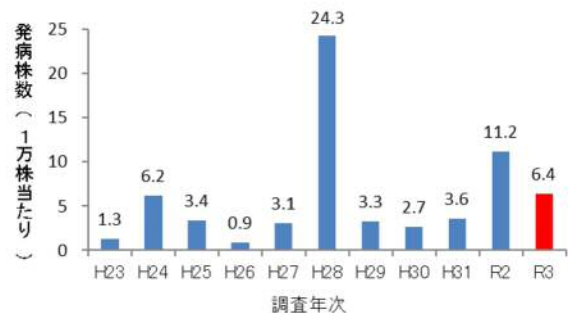


図1 タマネギベと病越冬罹病株の1万株当たりの発病株数（3月下旬調査）

### 2. 防除対策及び防除上の注意事項

- 1) 越冬罹病株（図2）は継続的に胞子を形成し、重大な伝染源となるため、抜き取ってほ場外へ持ち出し適切に処分する。
- 2) 越冬罹病株が認められた場合には、感染拡大防止のため、直ちに薬剤による防除を行う。



図2 タマネギベと病越冬罹病株（赤枠）